

千葉市政担当記者 様

平成 29 年 5 月 25 日
千葉市美術館
電話 221-2311
市民局生活文化スポーツ部
文化 振 興 課
電話 245-5261
内線 2521

千葉市美術館 企画展「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」開催について

千葉市美術館では、企画展「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」を以下のとおり開催いたしますので、お知らせします。

本展は、千葉ゆかりの作家であり、近代日本における絵画表現を探究した画家・椿貞雄の画業を紹介する大規模な回顧展となります。

開催に先立ちまして、6月6日(火) 15:00から記者のみなさまへの披露説明会を開催させていただきます。ご多忙とは存じますがぜひ取材にお越しく下さい。

1 会期 平成29年6月7日(水)～7月30日(日)
休館日 7月3日(月)

2 会場 千葉市美術館(中央区中央3-10-8)

3 主催 千葉市美術館
協力 東京国立近代美術館

4 概要 ◆千葉ゆかりの画家

椿貞雄は、1927年に船橋町立小学校の図画教師に着任して以来、亡くなるまで30年にわたって船橋の土地で家族とともに暮らしました。本展では椿が初めて描いた油彩画から絶筆まで、各地の美術館・個人が所蔵する約150点を紹介。1996年に千葉県立美術館で開催された「生誕100年記念椿貞雄展」以来、ゆかりの土地・房総での20年ぶりの大規模な回顧展であり、千葉市美術館だけの単独開催となります。

◆岸田劉生との深いつながり

近代日本美術史において写実絵画を牽引した画家・岸田劉生。《麗子像》を描いたことでも知られています。椿と劉生はお互いに近所に住まうなど生涯を通して深い交流をもちました。はじめは劉生の影響を強く受け、模倣者として見られることも多い椿貞雄ですが、劉生の死後、独自の画風を模索し変化を遂げました。本展では、椿に影響を与えた劉生の作品は約30点を展示、そこから椿が何を学んだのかをご覧ください。

◆愛情の画家

劉生の死後1950年頃から椿は「やっと劉生を意識することなく自由に絵がかけられるようになった」といい、明るい画風へ転換します。一男三女のこどもをもうけ、そ

の孫三人にも恵まれ、彼らをモデルに多くの作品を残して「愛情の画家」と呼ばれました。本展でも家族を描いた作品を多数展示し、「愛情の画家」と呼ばれる椿の側面を紹介します。家族に注ぐあたたかな視線をご覧ください。

- 5 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)
※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※()内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。
※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(7月30日まで)にて販売。

「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」披露説明会 開催概要

日時 6月6日(火) 15:00から

場所 千葉市美術館 10階会議室

(概要をスライドにてご説明した後、展示室へご案内いたします)

内容 一般公開に先立って展示作品をご覧ください、見所などを担当学芸員よりご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 藁科英也
広報担当 磯野 愛

〒260-8733 中央区中央3-10-8

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail: isono@ccma-net.jp

- 6 関連企画 展覧会に関連して、講演会、ワークショップなどのイベントを行います。

- 7 その他 本展のチラシ別添